

ウッドショックは住宅産業の成長を阻害する要因になるか

賀藤リサーチ・アンド・アドバイザーズ 代表 賀藤 浩徳

1. ウッドショックと約6割を輸入材に頼る日本の木材需給

ウッドショックとは、一般に、木材の需給が逼迫して木材を入手しにくくなっており、木材価格が急激に高騰している状態をいう。2021年3月頃から急速に広がり出した現象である。

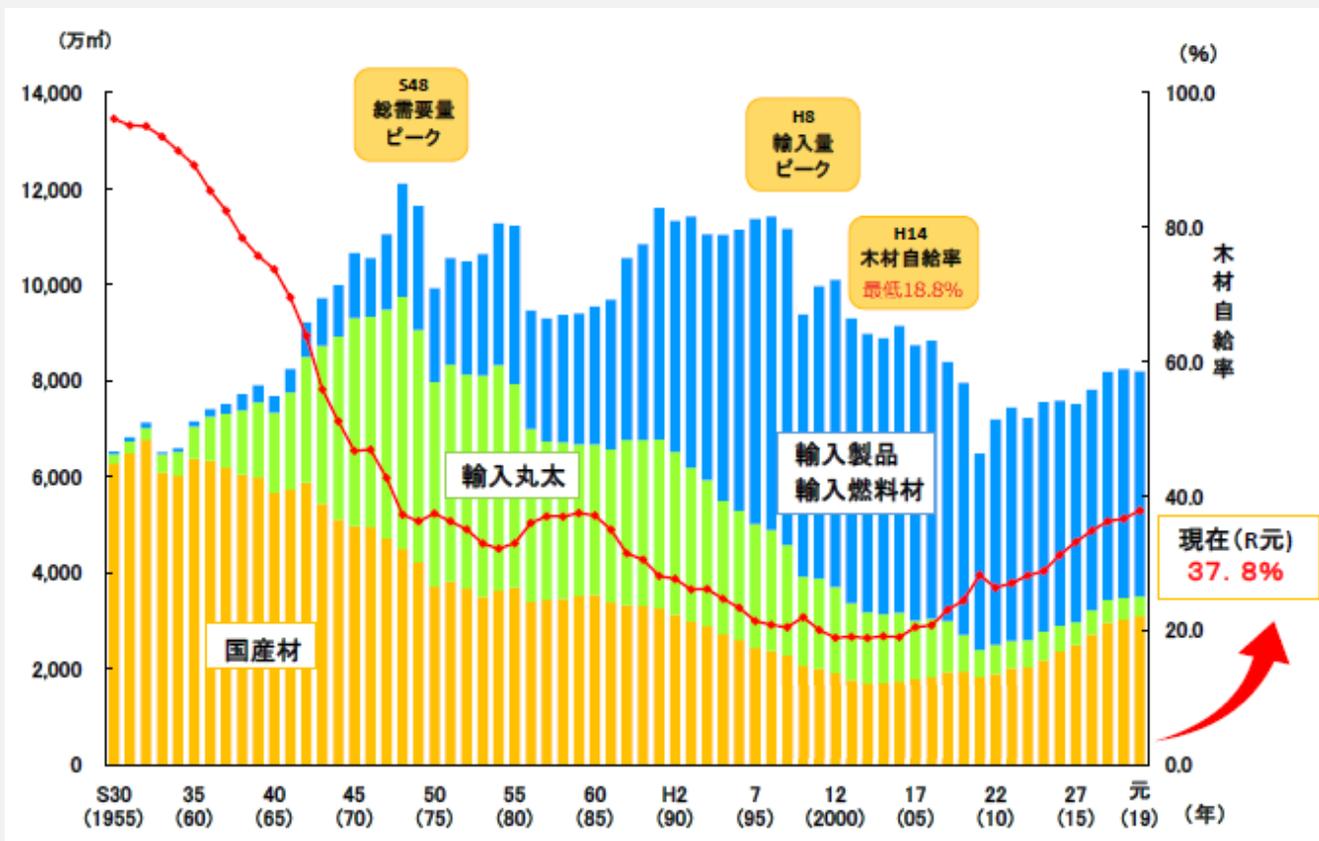
ウッドショックの主な要因は、米国の住宅バブルや中国等の経済回復に伴う木材需要の大幅増加や新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」という）蔓延防止のための海上輸送コンテナの取扱量の減少などがあげられる。

前者は、米国において、大型の財政出動と歴史的低水準にある住宅ローン金利を背景としながら、テレワークの増加などにより郊外に戸建てを建築する動きが加速したことが需給逼迫を招いたものである。

中国においても、新型コロナの封じ込めに成功し、いち早く経済回復を遂げたことに伴い木材需要が大幅に増加している。欧州においても木材需要は堅調のようである。

こうしたなか、後者の世界的な海上輸送コンテナ不足により、供給ルート面での制約も加わり、木材の62.2%（2019年時点）を輸入材に頼っている日本において、需給逼迫に拍車がかかった（図表1）。

図表1 木材供給量及び木材自給率の推移（1955年～2019年）



出所：令和元年（2019年）木材需給表

2. 米国発のウッドショックが、国内の木材価格を反転上昇させる

米国において木材価格が急騰したことが今回のウッドショックの発端といわれる。図表2は米国の木材先物価格の推移である。新型コロナの影響がなかった2020年1月始めには、392ドル/1,000 board feetであった価格が、上記の要因により2020年6月頃から上昇を始めた。一時は落ち着きかけた時期もあったが、2021年5月には、1,700ドル/1,000 board feetを超える水準となり、新型コロナ以前の価格の約4.4倍まで上昇したのである。これは、2020年4月の初めにつけた新型コロナ以後の安値である251.5ドル/1,000 board feetと比べると、約6.8倍となる。

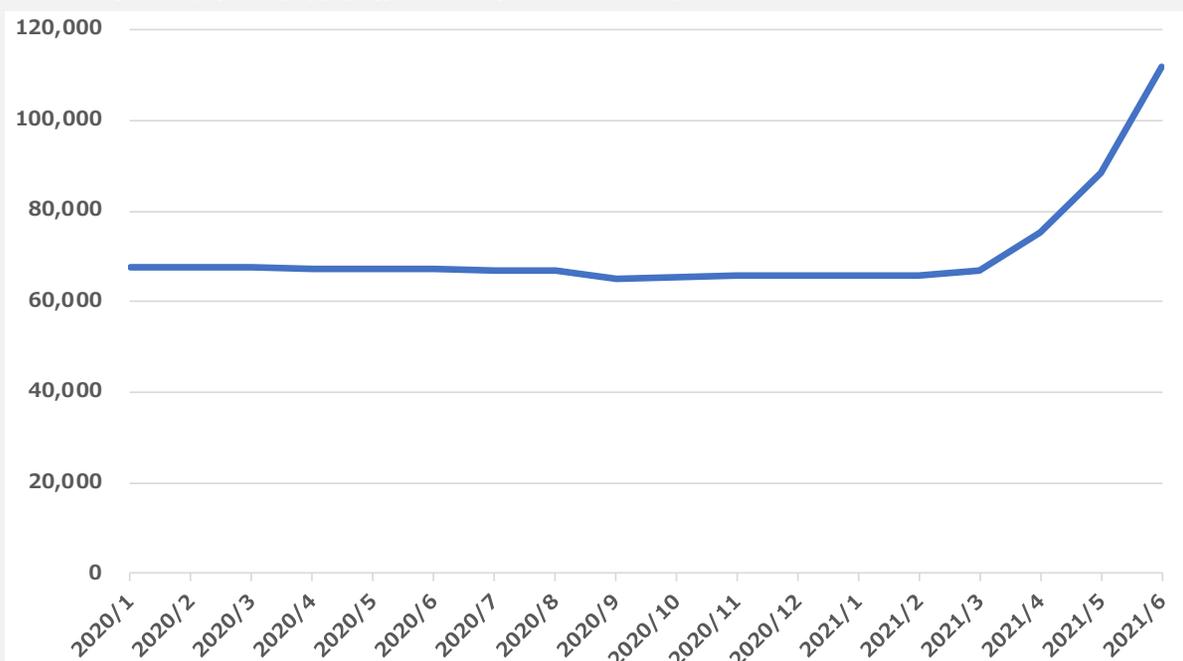
一方、国内の木材価格の動きは、図表3のとおりである。2020年1月に67,700円/㎡だったものが、2021年6月には、111,800円/㎡と、こちらは約1.7倍まで上昇している。日本においては、新型コロナの影響により木材価格はやや下落傾向にあったところ、2021年3月頃から上昇傾向を示している。

図表2 米国木材先物価格(2020年1月～2021年7月)



(注) 単位: ドル / 1,000 board feet (1ボードフィート”board-foot”: 厚さ1インチ、縦・横とも1フィートの板材の体積、144立方インチ、2.3597リットル)
出所: CME公表データ(週次データ)より筆者作成

図表3 国内木材製材品価格(2020年1月～2021年6月)



(注) 対象: すぎ正角(乾燥剤)2級 厚10.5cm 幅10.5cm 長3.0cm、単位: 円/㎡、月次データ
(出所) 農林水産統計 木材流通統計調査 木材価格(2021年6月)より筆者作成

3. 木造住宅の販売価格へ転嫁、値上げの影響はこれからか

ウッドショックが木材関連産業に及ぼしている、あるいは今後及ぼす可能性のある影響は、おおむね図表4の①～⑥とおりにいえる。

ただし、これらは、住宅メーカーや、工務店・リフォーム業者、家具等製造販売業者などに該当する一方で、木材製造・販売業者、国内林業にとっては、逆に、木材価格の値上げ、国産材のプレゼンス向上に関して、好機ともいえる。

①および②では、現状、取引価格を上げて調達することにより、入手不能あるいは納期の顕著な遅れなどは顕在化していない。

ただし、今後も長期的に品薄状態が続くのであれば、顕在化する可能性はあろう。

③については、たとえば、オープンハウスでは、同社が扱う4,400万円程度の販売価格の戸建てで、木材価格値上げによる影響度は約36万円(販売価格の0.8%程度)と説明している。また、大東建託では、北米の木材価格による2021年度(2022/3期)の粗利益率への影響を1.5%ポイントとしている。

④に関しては、積水ハウス、大和ハウスなどのハウスメーカーで、2021年6月より一部の木造住宅の価格を値上げした。積水ハウスでは、木材価格の上昇分を販売価格に転嫁、大和ハウスでは、建物価格を1%値上げした。これまで、値上げに踏み切らず持ち堪えてきた業者が多かったが、これら最大手の値上げ実施により追随する会社が増えることが予想される。

最後に、⑤および⑥は、値上げ等により需要の減少が生じていないかである。図表5の新設住宅着工戸数の総数のうち、木造戸建て住宅が多くを占めると考えられる「持ち家＋戸建て」のグラフに注目すると、未だ明確な影響は出ていないといえるであろう。

ただし、本データはすでに着工した戸数であること、ほとんどが住宅価格の値上げ前の契約であるため、そもそも値上げの影響が現れていないであろうことは認識しておく必要がある。

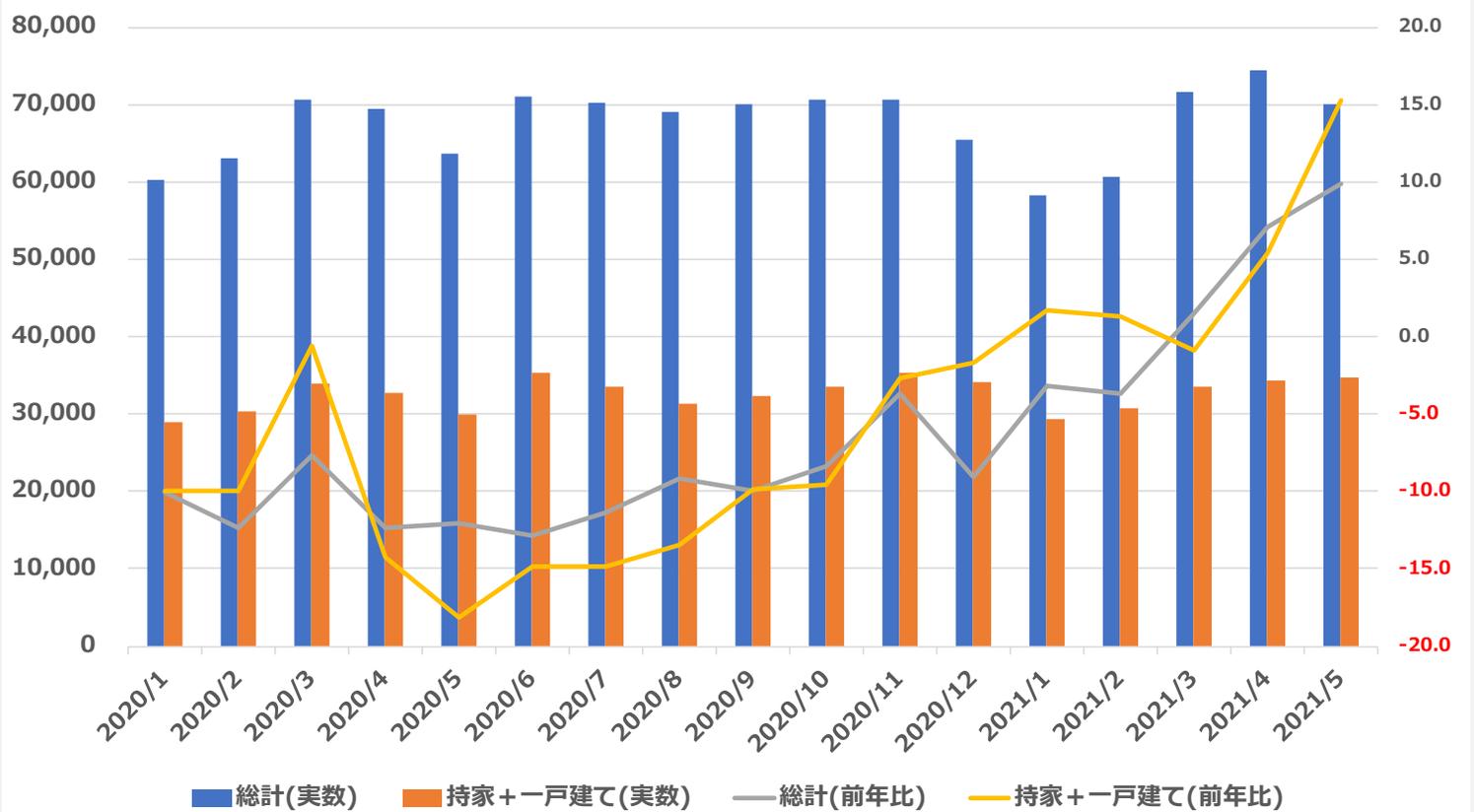
よって、値上げする業者が増えてきた2021年6月以降については、値上げによる需要の減少、需要の後ズレなどについて注意を要する。

図表4 想定されるウッドショックの影響

①木材の必要数量の確保の困難
②工期、納期の遅れおよび不透明化
③木材価格(原材料価格)高騰によるメーカーの収益性低下
④木材価格高騰による住宅価格、製品価格の値上げ
⑤値上げによる需要の減少
⑥タムリな住宅供給、製品供給ができないことによる需要の見逃し

出所:筆者作成

図表5 新設住宅着工戸数推移(2020年1月～2021年5月)



(注)単位:戸(左目盛り)、%(右目盛り)

出所:国土交通省「建築着工統計調査報告」2021年5月分までの公表データより筆者作成

4. 価格高騰・供給不足は落ち着くが、国内産の供給は依然として不透明

木材価格の今後の見通しについて、米国の木材先物価格(おおむね3カ月先の価格)の動きを見ると、2021年7月11日には、536.4ドル/1,000 board feet まで低下している(図表2)。

その後、やや上昇したものの、7月11日の価格を新型コロナ前と比べると、約1.4倍にまで落ち着いてきているのである。

先物価格、国内価格とも、一時のショック状態から抜け出し、今後は比較的落ち着いてくることが予想される。ただ、完全に新型コロナ前の水準にまで戻るかは見通しにくい。

一方で、木材の需要は、住宅価格の値上げが需要にマイナスの影響を及ぼすことは十分考えられる。需要者側には、購入を諦めるか、元の価格に戻るまで待つか、値上げ後の価格で購入するかのオプションがあり、供給者側には、値上げをするかどうか、値上げは木材価格の上昇額のどこまでを需要者に負担させるかの戦略オプションがある。

木材の供給不足については、住宅メーカー等各社が独自のルートで確保に努めるなどの動きが見られ、また価格の落ち着きに示されているように、一時の大きなショック状態からは立ち直っており、年内の資材は確保したなどの業者の声も聞かれる。その一方で、日本総合研究所の試算では、2021年度上期(4～9月)の住宅着工戸数は、資材不足により前年から5.7万戸減少(前年比13.7%減)、GDPは5,400億円下振れと予想している。

なお、一部に、長期的視点で国内産の供給拡大および体制整備を行うべきとの意見があるが、民間ベースで考えると、植栽から伐採まで60～70年(米国材40～50年、ニュージーランド材30年、中国材10年)といわれる日本材の供給システムを変更することは至難の業であり、かつ一時的に終わることも想定されるウッドショックに対し、根本からの変更を実施すべきかとなると、その実現性は疑わしいといえよう。

5. 審査のポイント

ウッドショックによる影響を見定め審査をするには、以下の点を確認する必要がある。

・売上総利益率(粗利益率)の水準、変化

原材料値上げの顧客への価格転嫁の度合いを確認

・在庫回転率の水準、変化

計画どおり販売できているか、過重な在庫を抱えてしまっていないかを確認

・仕入債務回転期間の水準、変化

仕入確保のために資金繰りに悪影響を及ぼす支払い条件となっていないかを確認

・資材仕入れ先の拡充等供給不足への対応策

安定的な供給確保のために、実効性のある工夫をしているかを確認

・資金繰り表

特に中小零細業者については資金繰り表を確認し、支払い、返済等に問題がないかを確認

図表6 『第14次業種別審査事典』対象業種

業種番号	業種名	業種番号	業種名
1145	林業	4066	建設産業
3001	製材業	4067	総合建設業(ゼネコン)
3002	建築用木製組立材料製造業(プレカット加工業)	4068	一般土木建築工事業
3003	木質ボード製造業	4069	建売業者(パワービルダー)
3004	木材チップ製造業	4070	ハウスメーカー
3005	造作材製造業	4071	中小工務店
3006	合板製造業	4072	プレハブ住宅製造業
3007	集成材製造業	4073	プレハブ住宅工事業
3008	木材販売業	4079	建築工事業
3009	たる・おけ製造業	4080	住宅リフォーム・リノベーション
3010	木材薬品処理業	4081	古民家再生業
3011	木箱製造業	4082	大工工事業
3012	木型(鑄造用模型)製造業	6008	外航船舶貸渡業
3014	その他の特殊製材業	6012	外航貨物海運業

出所:株式会社きんざい出版部